

① “校歌碑”を製作・設置します！

⇒ 70年も歌い継がれている本校の素晴らしい校歌。恒例となっている体育大会の応援団も大声で歌っています。儀礼的な行事では、常に全員で合唱しています（※コロナ禍の現在は中止）。

『この校歌を後世まで引き継いで行きたい！』…こうした生徒の思いを実現するために、名古屋市教育委員会の事業（「夢と命の絆推進事業」）に生徒会が応募し、見事申請が通りました。その事業でいただける費用で、体育館南に記念の校歌碑（石製の土台にステンレス製のプレート）を設置することを予定しています。完成しましたら、このHPで紹介いたします。

★ この碑にあるQRコードをスマホ等で読み込むと、校歌や今年の授業風景、合唱コンクールの様子（一部）が視聴できるようにします。

※ 本校が成人式の会場になっているため、新成人となる卒業生のためにと考えました。

② 70年を振り返る画像を紹介します！

⇒ 70周年記念式典のために作成したプレゼンテーション（映像で振り返る「昭和橋中70年の軌跡」）に使用した画像の一部を、このHP上で紹介することを計画しています。

※ 紹介する画像は、過去の卒業アルバムやPTA広報誌、学校誌に掲載された写真を使用させていただきました。

【校長から全校生徒へのメッセージ】

※ 式典で紹介する予定であった校長式辞の一部です。

～『世の改革者は常に青年である』～

…この言葉は明治の有名な歌人・俳人である正岡子規（マサカ シ）の言葉です。

子規は、この言葉を次のように説明しています。

『明治維新の改革を成就したのは、二十歳前後の田舎の青年であって、幕府の老人ではなかった。何事においても、改革、または改良ということは、必ず新たに世の中に出てきた青年の力による。』……NHKの大河ドラマで主人公として取り上げられた坂本龍馬（土佐藩出身）も、西郷隆盛（薩摩藩出身）もその一人だと思います。どんな逆境でも、やはり若者の力とその計り知れないパワー・情熱が、この社会には不可欠で、先人や先輩の知恵や工夫を借りつつも、実際世の中を動かしていくのは君たちのような若者であることということです。

さあ、生徒諸君！君たちの出番です。学校の伝統を守るも、よい方向に引き継いで行くのも君たちです。社会全体を継承したり、改良したりするのも君たちです。

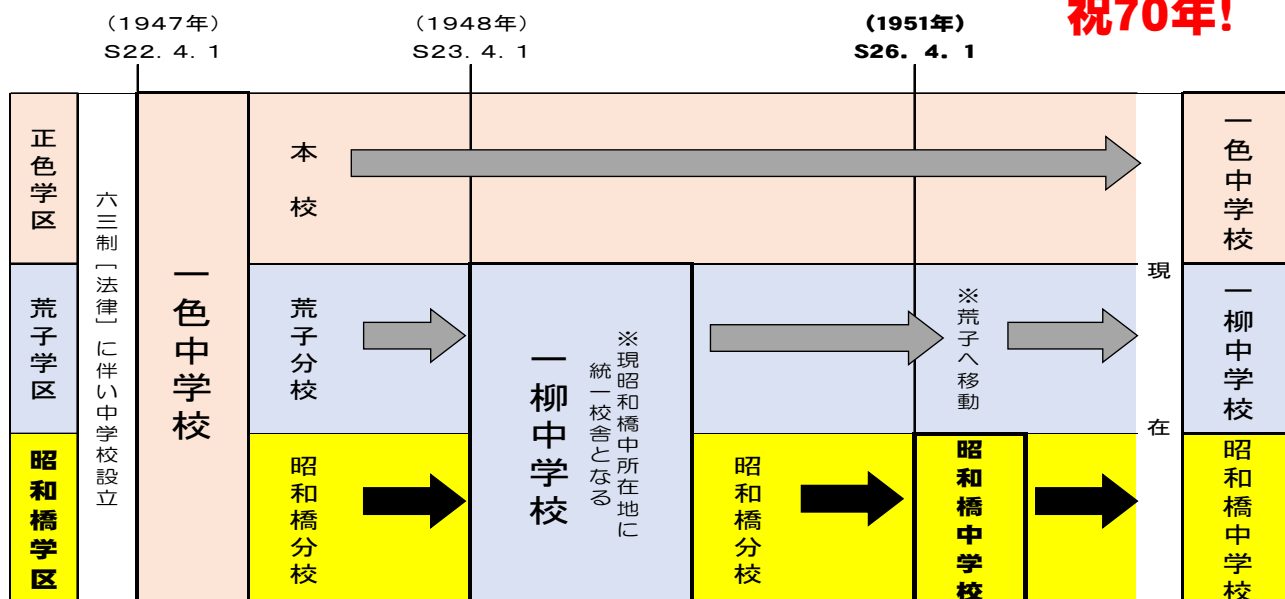
君たちには、温かく見守り応援してくださる家族・地域の方々がいてくださいます。頼もしい先生方もいます。70周年という大きな節目を迎えた君たちの力で、昭和橋中の歴史の1ページに新しい伝統を刻むことを期待しています。

令和3年11月4日

加藤厚司

【参考～昭和橋中の系図】

祝70年!



◇ 一色中学校昭和橋分校 → 一柳中学校昭和橋分校 → 昭和橋中学校

【参考～昭和橋中70年の軌跡（一部）】



昭和

先輩方が残してくれたもの…  
それは、全力、夢・挑戦、  
そして……絆！

〔昭和33年〕

三校（一色・一柳・昭和橋）  
親善駅伝大会  
「全力疾走！」



平成

〔平成11年〕

夢・チャレンジ  
支援事業（市教委）  
「自作のカヌーで  
中川運河を制覇！」

〔本年度（令和3年）〕

校内体育大会  
「地域からいただいた記念Tシャツ」  
～地域との絆～



令和

※ その他、今後HPで紹介します。